

- ② 水中用ドローンを導入
- ③ 熱中症に警戒を
- ④-⑤ 特集 起業スクールで夢を後押し
新たな未来を切り開く
- ⑥-⑧ 街の話題/コラム/お知らせ

デジタル広報配信 アプリは「マチイロ」 ネットは「マイ広報紙」



まちを支える

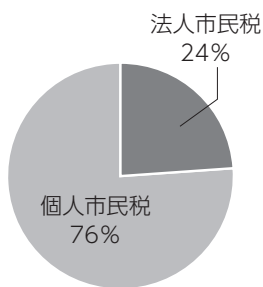
産業

金属音が聞こえる工場の中。大きな機械で金属のプレートをつ一つ丁寧に加工し、指定されたサイズに黙々と仕上げていきます。完成したプレートは全国の工場に運ばれ金型や機械の部品になります。

市内では、製造・運送・飲食・サービス業などの企業が活発な活動を展開しています。大小さまざまな企業の存在は、雇用の創出など活気あるまちづくりにつながっています。市ではこれまで会社の創業や運営への支援、誘致に力を入れてきました。今後も企業や働く人々が生き生きと活躍できるまちづくりを進めていきます。

《4・5面に関連記事》
産業振興課 ☎ 225-2832

■市民税内訳



出典：2021年度一般会計・特別会計決算書及び付属書類

■市内事業所の総数

9435 事業所

■市内事業所の種類(上位5種)

業 種	事業所数
卸売・小売業	2093
不動産・物品賃貸業	1127
建設業	1038
宿泊・飲食サービス業	888
医療・福祉	743

出典：令和3年経済センサス-活動調査結果

Q Zoom Up

迅速な水難救助をサポート

水中用ドローンを導入

河川での水難事故の際、救助活動をより迅速に進めるため、水中の映像をリアルタイムで確認できるドローンを導入しました。例年、夏は水辺での事故が増えるため、川でのレジャーの際は子どもだけで遊ばない、むやみに川に入らないなどを心がけ、事故に遭わないようにしましょう。

夏になると釣りや川遊びなど水辺でのレジャーを楽しむ機会が増えます。それに併せて水難事故の危険性も高くなり、昨年は11件の事故が発生しました。

市は6月、水難事故が起こった際の救助活動に役立てるため、水中用のドローンを1機導入しました。現在3機保有している空中用ドローンと併用し、空と地上、水中で連携した救助活動ができるようになります。

水上から遠隔操作し、撮影した映像をリアルタイムで表示。水中の様子が確認できるため、救助隊員が潜水する場所の特定や、隊員の活動時間が短縮できるなどのメリットがあります。

川での水難救助は、目撃された箇所から下流へと捜索範囲を広げていきます。水中用ドローンを導入し、長時間かつ広範囲の捜索ができるようになると、交代で潜水する隊員たちの負担軽減や、行方不明者の発見率の向上も期待できます。救助に当たる隊員は「障害物のある狭い場所など、特に隊員の接近が難しい場所でドローンが活用で

できれば」と期待を寄せます。

事故に遭わない心がけを

消防本部では、ドローンの導入や訓練など、有事の際に迅速に救助できる体制を整えています。しかし、最も大切なのは一人一人が事故を起こさない行動を心がけることです。子どもだけで水辺で遊ばない、子どもから目を離さない、泳ぐ力を過信しないなど、事故を防ぐポイント（左・下欄参照）を知り、安全にレジャーを楽しみましょう。

問 警防課 ☎ 223-9368



水中用ドローンの特徴

- 水深200メートル、半径200メートルの範囲で稼働できる
- 360度移動可能
- 高性能レンズで水中でも細部まではっきり撮影できる



水の事故は心がけて防げる



警防課 岩崎 健吾 (31)

川での事故が最も増えるのは夏です。特にお酒を飲んだ勢いで川に入るケースや、子どもの事故が多くなっています。

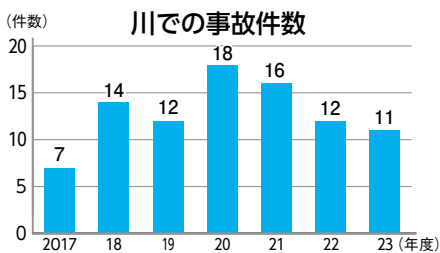
事故に遭わないために、お酒を飲んだら川に入らない、子どもだけで川で遊ばない、川で遊ぶときはライフジャケットを着けることなどを心がけてください。釣りを楽しむ際は、熱中症により川の中に倒れる危険性もあるため、無理をせず自分の体調を知っておくことが大切です。水の事故に注意して、川辺でのレジャーを楽しんでほしいです。



楽しい夏を過ごすために
水の事故に注意

市内の河川では毎年、水難事故が発生しています。安全に過ごすためのポイントを押さえて、川のレジャーを楽しみましょう。

問 警防課 ☎ 223-9368



事故を防ぐポイント



- 子どもだけで遊ばない、遊ばせない
- 水辺にいる子どもから目を離さない
- 泳ぐ力を過信せず、無理をしない
- お酒を飲んだら、水に入らない
- 溺れている人を見つけたら大声で近くの人に知らせ、すぐに119番通報
- 応急手当の知識を身に付ける



みんなでつくる安心・安全なまち

社会を明るくする運動

犯罪のない安全で安心な社会を目指し、犯罪・非行をした人々への更生を支援する全国的な取り組みです。誰もが明るく暮らせる社会を目指しましょう。

問 地域包括ケア推進課 ☎ 225-2200



社会を明るくする運動メイン行事

日時 7月6日 14時45分～16時
場所 保健福祉センター、本厚木駅周辺
内容 社会を明るくする運動の街頭啓発、啓発物品配布、デジタルサイネージの放映

地域や社会との関わりが大切

市内では47人の保護司が犯罪や非行をした人の立ち直りを地域で支援し、ボランティアでつくる更生保護女性会では、190人が子育て支援や更生保護施設での食事作りなどの活動をしています。犯罪をした人の再犯率は、社会や地域に関わっている人ほど低くなります。安心・安全なまちを目指すために、まずは運動を知ることから始めてほしいと思います。

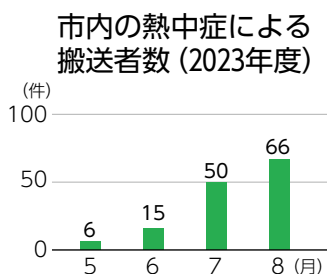


保護司会・更生保護女性会会長
前頭 七恵さん (65)



適度な水分・塩分補給や涼しい服装で対策を

7月は熱中症に注意



熱中症による市内での救急搬送数は7月に急激に増加しているため、特に注意が必要です。

■予防のポイント

- ・時間を決めて喉が渇く前に小まめな水分補給
- ・外出する時は日傘や帽子を身に着ける
- ・室内では適度にエアコンを使う
- ・日頃から体調を整える

■熱中症が疑われる時は

- ・日陰や室内などの涼しい場所へ移動し安静にする
- ・水分と塩分を補給
- ・濡れたタオルや水で首や脇の下、足の付け根などを冷やす
- ・体調が回復しない場合は119番に通報

Q Zoom Up

4月から特別警戒アラート運用開始 熱中症に警戒を

梅雨が明けて気温や湿度が上昇すると、熱中症の危険性が高まります。今年からは命に関わる危険な暑さが予想されると「熱中症特別警戒アラート」が発表されます。体調を整え、安全に夏を過ごしましょう。

災害規模の暑さに注意

熱中症は、気温の上昇などで体温の調整がうまくできなくなり、めまいやけいれん、頭痛、吐き気などの症状を起こす病気です。2022年は全国で約7万1000人が救急搬送され、1477人が命を落としました。特に梅雨が明け、本格的な夏の猛暑が始まる7月は、気温と湿度が急激に上昇し、危険性が高まります。

今年の4月からは、熱中症の危険を知らせる「熱中症警戒アラート」に加えて、過去に例のない危険な暑さが予想される時に「熱中症特別警戒アラート」が発表されます。

「熱中症特別警戒アラート」は、湿度や気温などを基に算出した暑さ指数が県内全ての観測地点で35を超えると予想された場合、環境省から発表されます。情報は、市の防災行政無線・LINE・ホームページ・デジタルサイネージなどで前日の夕方ごろに発信。発表された際には屋外でのイベントなどの延期や中止、自宅で仕事をするリモートワークの選択など、外出を避け

日頃の備えでリスクを軽減

熱中症を防ぐには、気温が高くなる前に体を暑さに慣らし、体の調子を整えることが大切です。風通しの良い服装にすると、熱を逃がしやすくなります。定期的に日陰や冷房の効いた室内で休憩を取り、水分・塩分を補給することもリスクの軽減につながります。

特に熱中症になりやすい高齢者と子どもは、周りの人の注意が必要です。昨年、市内で救急搬送された熱中症患者のうち約6割は高齢者と子どもでした。市立病院救急課の澤本徹医師(52)は「症状に気づきにくい高齢者や子どもは発症の危険が高い。周りの人が本人の体調や変化を注意深く見守ることが必要」と警戒を促します。

今年は平年よりも気温が上昇すると予想されています。正しい対策をして楽しい夏を過ごしましょう。

健康医療課 ☎25-2174

参加者募集

あつぎ食育 アドバイザー 養成講座

食の知識を身に付け、地域で食生活改善や食育を推進するボランティアを養成する講座を開催します。

《日時》①9月4日～10月30日
②11月6日～12月20日
(各全10回)

《場所》あつぎ市民交流プラザ
保健福祉センター

《内容》食育の講義と実習

《対象》食のボランティアとして活動する意欲がある市内在住の18歳以上各16人
(②は託児あり。1歳～小学3年生5人。要予約。抽選)

《費用》2000円(食材費の一部、テキスト代他)

健康医療課や市HPにある申込書を直接または郵送で7月31日(必着)までに〒243-8511健康医療課へ。抽選。



詳細はこちら

健康医療課 ☎225-2201

SDG s を楽しく学ぶ

学習ボードゲーム厚木市版 Get The Pointを作成

とん漬けやアユなど、市の特産品でSDG s を学べるゲームを市内の大学生と作りました。体験イベントの開催や市内小・中学校で活用していきます。企画政策課 ☎225-2450

■ゲームの概要

資源が描かれたカードを使ってアイテムを作り、アイテムのポイント数で競うボードゲーム。勝利の条件を変えることで、遊びながらSDG s を学べる

■活用方法

体験イベント、市の出前講座、小・中学校でのSDG s の紹介に活用

■市生涯学習出前講座「SDG s」

市職員がボードゲームなどを使ってSDG s を解説
☎電話で企画政策課へ。

あつぎSDGsパートナーを募集

SDGsの達成や地域課題の解決に向けて取り組む企業や団体などを募集します。

《登録のポイント》①登録証を交付②取り組みを市HPなどで紹介③オリジナルロゴが使用可能

市HPにある申請書をEメールで7月31日までに企画政策課 ☐1100@city.atsugi.kanagawa.jpへ。

遊びながら 学べる

神奈川工科大学
山之内 優斗さん
(20・松枝)



地方創生推進プロジェクトのメンバーとして制作に関わりました。ゲームを身近に感じてもらえるよう、厚木の有名な食べ物や農産物などをカードに取り入れています。ルールも簡単なので、大人から子どもまで、楽しみながらSDG s を知ってもらえると嬉しいです。

焦らず一步一步前に

じゅうたん輸入販売 吉田 純子さん(52・温水)
2023年受講生

仕入れたじゅうたんの縫い目や角などを丁寧に確認する吉田さん

でした。受講してみると、起業や経営のノウハウが学べた他、経営コンサルタントなどの専門家からの助言や体験談が聞け、自信につながった吉田さん。「同じ志を持つ仲間たちとの情報交換も刺激になった」と充実感をのぞかせます。会社経営に専念するため、長く働いたパートを続けるか悩みましたが、講師の「起業したからといって、すぐに仕事を一本化する必要はない」という言葉が心に残り、今でも兼業をしています。



2つの倉庫で約350種類を備えている



イランにいるハッシュェムさんに電話で連絡

一枚を提供したい」と話します。起業して1年半、購入してくれたお客さんは北海道から沖縄まで全国にわたります。「将来的には、ネット販売だけでなく、自分の店舗を持ちたい」。次なる目標に向かい歩み続ける吉田さんは、今日も仕入れたばかりのじゅうたんを床いっぱいに広げています。

「敷」くだけで部屋の雰囲気や人の気分も変えられる大切なアイテム」。そう話す吉田さんは、きめ細かい文様が織られたじゅうたんのほつれや縫い目を確かめ、お客さんへの発送準備を進めます。

吉田さんは夫のハッシュェムさんとの結婚を機に、10年以上イランで暮らし、14年前に日本へ帰国。市内の食品会社でパートタイムとして働いていました。3年前、仕事のためイランと日本を行き来するハッシュェムさんと一緒に何かビジネスができなかと考えました。その時、頭に浮かんだのがイランで有名なペルシャじゅうたんです。「手織りの品は手入れが難しく高価。安価な機械織り

なら手に取りやすい」と本場イランから輸入したじゅうたんのインターネット販売を始めました。

不安が自信に変わる

販売する品物や仕入れ先は、イランにいるハッシュェムさんが決定。輸入した製品の品質確認や販売サイトへの掲載、梱包・発送などが吉田さんの仕事です。初めは個人事業主として出品していましたが、仕入れ先を増やすため昨年1月に会社を立ち上げました。

設立したものの経営の知識不足から不安を抱えていた吉田さんの目に止まったのが、あつぎ起業スクール

特集 あつぎ起業スクールで夢を後押し

新たな未来を

切り開く

起業の夢を持つ人たちを応援する「あつぎ起業スクール」。多くの受講生が活躍し、厚木の産業を盛り上げています。特集では、スクールを受講し夢へと羽ばたいた2人に話を聞きました。

☎産業振興課 ☎225-2832

幼い頃に描いた夢を

パン工房 松村 浩一さん(43・上沢)

2017年受講生

顔 工房には香ばしい香りが立ち込めます。きつね色に焼き上がったパンをオーブンから取り出す松村さんは、起業スクールの卒業生です。「生地は繊細。成形の方法や卵の塗り方一つで出来具合が変わる」。松村さんのお店はオーブンして7年目を迎えます。

作ったパンを多くの人に

幼い時から、とにかくパンが好き



1日400～600個のパンを一人で作る松村さん



一つ一つ丁寧に成形



自宅を改装した店舗

だった松村さん。種類の豊富さに興味を持ち、作る仕事をしたいと考えていました。自分の店を持つために商業科の高校で簿記を学び、パン作りのアルバイトも経験。大学卒業後は、作り方や開発の技術を学ぶため、フリーターとして、大手企業や個人店など、いくつもの店舗で経験を積みました。

起業に踏み出したのは、北海道の菓子製造会社で人材育成や商品開発などに没頭していた35歳の頃。新規店舗の開店に向けて生地を考案したのがきっかけです。「開発した製品がヒットしてうれしかった。店を開き、自分のパンを多くの人に味わってほしい気持ちが大きくなった」と、

起業を決め、地元の厚木に戻ってきました。

お客さんとの大切な時間を

起業スクールを知ったのは、起業に向け準備を進め、市の補助金などを調べていた時。「一度立ち止まり、自分の考えや方向性が正しいか確認してみよう」と受講を決意しました。講座では、税理士や中小企業診断士など各分野の専門家が一堂に集まり、起業の計画や経営戦略などの話が聞けました。「良い点と悪い点をハッキリ言ってもらい、起業前に伸ばす部分と改善点が明確になった」と、話します。

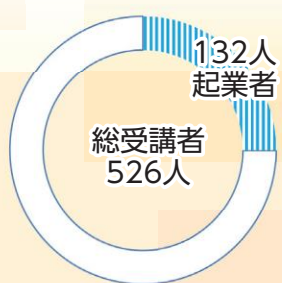
オープン当初は、店が市街地から離れていたこともあり、ネット販売や卸売りに重点を置いていました。しかし、SNSでの宣伝やお客さんの口コミで、想定以上に客足が増え、開店直後にパンが売り切れる状態に。楽しみに来てくれたお客さんをがっかりさせないようにと店頭販売



店頭に立ちお客さんとの会話を心がける

あつぎ起業スクールとは？

起業に必要な知識を専門家から幅広く学べる講座で、これまで526人が受講しています。起業を目指す人を後押しし、市内の産業の活性化につなげるため、受講後も相談や創業に伴う税の優遇措置などサポート体制を整えています。



店内には25～30種類のパンが並び



機械織りのじゅうたんは丈夫で手洗いもできる

創業をサポート

創業に向け、市や各機関が段階に応じたサポートをしています。内容などの詳細は市HPに掲載。(サポート名/窓口)



詳細はこちら

●特定創業支援

市内での創業に必要な知識などを学べる講座や手続き・資金調達の相談窓口。修了者は創業に伴う税や融資の優遇措置が受けられます。

- ・あつぎ起業スクール
- ・創業ハンズオン支援 / 指定の金融機関

●相談

中小企業診断士などの専門家による助言、経営・融資などの相談ができます。

- ・相談サポート
- ・起業・経営なんでも相談会
- ・土曜経営相談会、経営相談窓口 / 厚木商工会議所

など

●融資・補助制度

創業する方への融資や、金融機関に支払った利子、信用保証料の一部を補助する制度があります。

- ・県創業支援融資 / 指定の金融機関
- ・創業者向け融資 / 日本政策金融公庫
- ・利子補給・信用保証料補助制度 など

まずは気軽に相談を

NPOあつぎみらい21
中小企業診断士 伊藤 裕美子さん (63)

皆さんの描いた夢を実現できるよう、市の無料相談や起業スクールなどで多くの話を聞き、一人一人に合わせたサポートを心がけています。起業への一歩を踏み出すためには、不安や悩みを解消することが大切です。経営や融資、起業に向けた課題解決など、支援体制が整っているので、「こんなささいなことを聞いていいのかな」と思わず、積極的に相談窓口を活用してほしいです。

募集 あつぎ起業
スクール受講生

専門家から、経営の基本を学べます。
☎産業振興課 ☎225-2832



詳細はこちら

《日時》8月31日、9月7・14・21・28日、
10月12日(全6回)
13～17時《対象》市内で起業予定または起業後
原則1年以内の方30人程度《場所》厚木商工会議所
《費用》6000円
《内容》成功する起業の条件、マーケティング戦略、
ビジネスモデルの作成、資金・利益計画、
融資制度・体験談の紹介、個別相談など

☎産業振興課や公民館、市HPなどにある申込書を直接または郵送、ファクス、Eメールで7月1～31日(必着)に〒243-0017栄町1-16-15厚木商工会議所 ☎221-2153・☎221-2152・✉kigyoun@atsugicci.or.jpへ。市HPからも申し込み可。選考あり。

4年後のロサンゼルス五輪を目指して トランポリンの国際大会優勝者が市長に報告



金メダルを手に喜びを報告した三澤さん(左)

4月にコロンビアで開かれたトランポリンの国際大会に、市内出身の三澤優華さん(21)が日本代表として出場し優勝を果たしました。

三澤さんが出場したのは「2024パシフィック・リム選手権大会」。世界各国から13人の選手が出場した中、金メダルに輝きました。5月下旬、市役所を訪れた三澤さんは「表彰台の一番高い所に上れてうれしかった。4年後のロサンゼルス五輪を目指して技術を磨きたい」と市長に報告。山口市長は「日頃の努力が良い結果につながったと思う。これからも活躍を期待し応援します」とたたえました。

現在、大学4年生の三澤さんは、卒業後も五輪を目標に競技を続けていきます。

早朝から約1900人が清掃活動に汗

県央相模川サミット六市町村合同クリーンキャンペーン

美しい環境を守るためのクリーンキャンペーンを、相模川三川合流点と旭町スポーツ広場で実施しました。市民や市内企業の社員など約1900人が、早朝から清掃活動に汗を流しました。

キャンペーンは、流域の6市町村で構成する「県央相模川サミット」(厚木・相模原・海老名・座間市、愛川町、清川村)が協力して開催し15回目。参加者たちは、空き缶やペットボトルなどのごみを拾い、清掃後はアユの稚魚の放流を楽しみました。

親子で参加した網藤秀和さん(49・森の里)は「キャンペーンには初めて参加した。バーベキューをした後の紙や炭などのごみが落ちていたが、全体的にごみが少なく、取り組みの成果が出ていると感じた」と笑顔で話しました。



相模川三川合流点でごみを拾う参加者



共同住宅での延焼拡大を食い止める

市消防本部が火災の初期消火に当たった市民を表彰

市消防本部は、宮の里の共同住宅での火災発生時に初期消火に当たった伊東克巳さん(36)に、感謝状と記念品を贈りました。

デイサービスの事業所を運営する伊東さんは5月3日、利用者のマンションのエレベーター内が燃えているのを見、設置されていた粉末消火器を使い速やかに消火し、延焼を食い止めました。表彰された伊東さんは「焦ったけれど、利用者さんを守らなければと行動した。火災を食い止められてよかった」と話しました。

岡田消防長は「迅速な通報と消火活動で被害を最小限にとどめたことに感謝します。一連の冷静な対応はプロの目から見ても素晴らしい行動」と感謝の言葉を伝えました。

消防本部では、火災や水害、事故が起きた際、人命救助などに協力した市民らを表彰しています。



表彰状を受け取った伊東さん(右)と家族

親子連れなど180人が参加

厚木歯科医師会がイベントで歯と口の健康の大切さをPR

6月4～10日の「歯と口の健康週間」に合わせたイベントが、保健福祉センターで開催されました。子どもたちが白衣を着て歯科医を体験するブースや無料相談コーナーなどが設けられ、約180人が歯と口の健康や日頃のケアの大切さを学びました。

当日、「なつてみよう!子供歯医者さん」のブースでは、子どもたちが歯科治療に用いられる器具を使い虫歯に見立てた模型を修復。体験した松岡直軌さん(10)は「歯に詰め物を入れる時、平らになるように頑張った。これからもちゃんと歯磨きをしたい」と笑顔で話しました。

厚木歯科医師会では他にも、本を通じて歯の大切さを知ってもらうため2021年から毎年、中央図書館に予防や治療の知識が得られる書籍や、歯磨きの絵本などを寄贈しています。



歯科医を体験する子どもたち



厚木・秦野・伊勢原市、愛川町、清川村の5市町村が観光振興で連携している「県央やまなみ地域」の魅力を毎月テーマを変えて紹介します。紙面では伝えきれない5市町村の観光にまつわるコラムを、ニュースサイトでも紹介します。

第2回 丹沢の水の恵み 厚木名物・アユと日本酒

丹沢の山々が育んでいる清らかな水は、厚木の街に、さまざまな水の恵みをもたらしています。

今年も6月1日に釣りが解禁されたばかりのアユの資源を守るため、種苗放流に取り組んでいる人たちがいます。200年の歴史を誇る

老舗の酒蔵は、地元で採れた酒米を丹沢の伏流水で仕込み、地産地消の日本酒づくりに乗り出しています。厚木名物を届けるために奮闘している現場を訪ねてみました。



初夏には釣り人が集まる相模川

ニュースサイトで詳しく紹介しています▶

商業観光課 ☎225-2820



今秋、市内に新たな町名が誕生します。森の里東土地画整理事業の施行区域の大半が「森の里紅葉台」となり、2014年度から進められてきた事業もいよいよ完了を迎えます。土地画整理組合や関係者の皆さんのご尽力で、既に8社が操業を開始。厚木の産業を盛り上げていただいています。

市内には現在、約9400の事業所があります。そこで働く人の数はおよそ15万人に上り、県内の市で唯

一、昼間の人口が夜間を上回るほど企業活動が活発です。企業の皆さんからの法人市民税は、市の財政基盤の礎となり、国からの普通地方交付税に頼らず独自の税収だけで運営できる「不交付団体」を、60年にわたり継続できています。小・中学校給食費の無償化や「かなちゃん手形」購入費助成の拡大なども、確かな財政基盤があってこそ実現できる事業です。

五つのインターチェンジがあり、交通アクセスの良い厚木市は、都市と自然の調和した魅力的な場所です。新たな産業拠点の創出に向けた事業は酒井地区で進んでいる他、山際や長谷、玉川などでも検討されています。より財政力の強いまちへ。これからも企業や市民の皆さんの活動を応援してまいります。



森の里東土地画整理組合の皆さんと現地を視察

一、昼間の人口が夜間を上回るほど企業活動が活発です。企業の皆さんからの法人市民税は、市の財政基盤の礎となり、国からの普通地方交付税に頼らず独自の税収だけで運営できる「不交付団体」を、60年にわたり継続できています。小・中学校給食費の無償化や「かなちゃん手形」購入費助成の拡大なども、確かな財政基盤があってこそ実現できる事業です。

タウンガイド

7月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

8月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

☎=申し込み ☎=問い合わせ ☎=電話番号
 FAX=ファクス番号 ☎=Eメール HP=ホームページ
 ☎=講座予約システム(インターネットで申し込み可)
 愛TV 7/1~ =市広報番組あつぎ愛テレビ
 市役所への郵便物は「〒243-8511〇〇課」で届きます。

あつぎのしゃしん。



「梅雨入り目前」

#6月7日撮影
 #アジサイ
 #小鮎川沿い
 #niceatsugi
 市公式インスタ
 グラムで公開中



参加者募集

あつぎミュージックフェスティバル
新人シンガー発掘オーディション

二次審査を通過した最終選考者は、約2カ月間、音楽スクールで本格的な指導が受けられる他、優勝者はメジャーレコード会社から配信デビューできます。

《対象》①市内在住在勤在学②市内の学校を卒業③活動拠点が市内一のいずれかに該当する方が半数を占める中学生～30歳のグループまたは個人(プロダクションと契約がない方。未成年者は保護者の同意署名が必要)

《参加費》1000円(高校生以下500円)

《審査》一次は書類・音源審査。合格者は8月25日の二次審査に出場

☎あつぎ市民交流プラザや市HPにある応募用紙と、音源1曲分(CD-R)、参加費を、直接または現金書留で7月31日(必着)までに〒243-8511文化魅力創造課(あつぎ市民交流プラザ)☎225-2508へ。公式HPからも申し込み可。



詳細はこちら

アミューあつぎ10周年記念・子育て支援センター夏まつり

7月27日、10～15時。あつぎ市民交流プラザ。輪投げやおもしろくなど。未就学児200人。無料。☎不要。先着順。☎子育て支援センター☎225-2922。

相模ささら踊り大会

7月24日、13時30分～16時。荻野運動公園。江戸時代から伝わる郷土芸能を披露。無料。☎不要。☎文化魅力創造課☎225-2509。



農大で生きもの探し

8月6日、10時～14時30分。東京農業大学。生き物調査や解説など。市内在住在学の小・中学生30人(小学生は保護者同伴)。無料。☎電

話またはEメールに〒住所、氏名、年齢、電話番号を書き、7月17日までに環境政策課☎225-2749・☎3100@city.atsugi.kanagawa.jpへ。抽選。☎

救急救命講習会

■応急手当普通救命講習会

7月23日、9～12時。消防本部。応急手当の重要性、心肺蘇生法、自動体外式除細動器(AED)の取り扱いなど。市内在住在勤在学の中学生以上30人。無料。

■応急手当普及員講習会

7月30日～8月1日(全3回)、9～17時。陸合分署。事業所や地域などで応急手当の方法を教える資格の取得。市内在住在勤在学の18歳以上30人。3960円(テキスト代)。

いずれも☎7月1～9日に救急救命課☎223-9365へ。抽選。☎

森の里東地区の都市計画変更に関する案の縦覧と意見書受け付け

緑地、地区計画、土地地区画整理事業の変更案を縦覧します。

《期間》7月3～17日《場所》都

市計画課、市HP《意見書受付》市内在住または利害関係のある方が対象。☎都市計画課や市HPにある意見書を、直接または郵送、ファクス、Eメールで、7月3～17日(必着)に〒243-8511都市計画課☎225-2400・☎222-8792・☎4600@city.atsugi.kanagawa.jpへ。

はじめての植物画講座

8月21日、9月18日、10月23日。10時30分～15時。あつぎ市民交流プラザ。季節の植物を描く。市内在住在勤在学の小学4年生以上各回15人(小学生は保護者同伴)。1000円(小・中学生500円)。☎電話またはEメールに参加希望日、〒住所、氏名、年齢、電話番号を書き、7月31日までに環境政策課☎225-2749・☎3100@city.atsugi.kanagawa.jpへ。抽選。☎

介護保険負担割合証の更新

要介護・支援認定を受けている方や総合事業の対象者に、介護保険負担割合証を7月中旬に発送します。新たに申請した方には、結果と併せて発送。

《適用期間》8月～(1年間)。☎

介護福祉課☎225-2393。

後期高齢者医療制度

■保険料率などを改定

2024・25年度の保険料率が改定されました。対象者には7月中旬に納入通知書を発送します。

《均等割額》4万5900円《所得割率》10.08%《上限額》年額80万円(1949年3月31日以前に生まれた方、または一定の障がいがあり、広域連合の認定を受けた方の一部は、24年度に限り73万円)。

■保険証が新しく

現在の保険証の有効期限は、7月31日までです。7月中に新しい保険証を特定記録郵便で郵送します。

いずれも☎国保年金課☎225-2223。



《意見交換会》

■開発許可等基準条例の改正

7月17日、19～20時。市役所第二庁舎。☎不要。☎開発指導課☎225-2441。

厚木市 市民参加

検索

ウクレレLIVE & フラダンスワークショップ

本厚木ミロードとの文化芸術連携協定事業「あつぎにぎわい座」



《日にち》7月20日《場所》本厚木ミロード「ミロにわ」

■ウクレレLIVE

《時間》①11時～②13時～《費用》無料 ☎不要。

■フラダンスワークショップ

《時間》①11時30分～②13時30分～

《費用》100円(予約手数料)《定員》各回30人

☎7月1日から市HPにある専用フォームへ。

先着順。

☎文化魅力創造課☎225-2508

愛TV 7/1～



詳細はこちら



森や草原の仲間たちを深掘りしませんか

企画展

夢虫になる夏が来る！

■展示 7月20日～9月16日(7月18・19・29日、8月26日は休館) 9～17時

■解説「あつぎ学びのアカデミー」

日時 7月20日、8月3日、9月14日 13時30分～14時30分

内容 虫との遊び方、学び方を解説

◆講座「トンボの講演会」

日時 8月18日 13時30分～15時30分

内容 昆虫写真家が空飛ぶ宝石に魅了された人生を語る

◆講座「アカリデサソウ・夏休みラスト トランプ大作戦」

日時 8月31日 19～21時

内容 明かりに集まる虫を観察



詳細はこちら

◆定員50人。
 ☎不要。◆
 10日前までに
 あつぎ郷土博
 物館へ。抽選。
 ☎

☎あつぎ郷土博物館☎225-2515

ホット

インターネット
 モニターからの
 意見を紹介



インターネットモニター募集中

厚木市 インターネットモニター 検索

☎広報シティプロモーション課☎225-2043

6月1日号「広報あつぎ」を読んで

◆健やかに暮らすためにも歯のセルフケアは重要／40代男性 ◆高齢者の悩みをサポートしていい取り組みだと思った／50代女性 ◆地震による火災原因は電気関係が多いと初めて知り自宅の分電盤に感震ブレーカーを設置しようと思った／30代女性 ◆厚木とアユのつながりが興味深かった／50代男性 ◆生物の命という視点で将来を見据えた対策や心がけを学ぶことは大切だと感じた／70代男性

編集後記

現実の生活がある中で夢へと一歩踏み出すのは、勇気や覚悟がいることです。「起業して夢をかなえた」と言えば響きが良いかもしれませんが、そこに至るまでには多くの苦労や不安、葛藤などもあったと思います。取材した2人の職種は違いますが、どちらも真っすぐなまなざしで生き生きと仕事をしていたのが印象的でした。今回の紙面で、未来を切り開こうとする人やそれを応援する人が増えたらうれしいです／森

第78回あつぎ
あつぎ
鮎まつり

開催日

8月3・4日

今年も「あつぎ鮎まつり」の季節がやって来ました。約1万
発の迫力ある花火や出店、たくさんの催しを楽しんで、夏の
思い出をつくりませんか。

☎商業観光課 ☎225-2820

オープニングパレード▶

3日 13時15分～13時45分
中央通り～厚木なかちょう大通り

大花火大会

日時

8月3日 19時～打ち上げ

会場

相模川三川合流点

有料観覧席チケット販売

販売日

7月5日 12時～

場所

セブン-イレブン全店

価格

厚木側 S S席=2万5000円
S 席=1万8000円
4人席=1万6000円
2人席=9000円
海老名側 5人席=1万8000円
4人席=1万6000円
2人席=9000円

新設 市民優先有料観覧席チケット販売

販売日

7月①5日 9～10時 ②5日～ 10～19時

場所

①本厚木駅東口地下道 ②市まるごとショップあつまる

価格

厚木側 2人席=9000円

販売数

250セット ※購入には市内在住が分かる本人確認書類が必要

「みんなの花火」の募金

大会のフィナーレを飾るのは、皆さんの募金で打ち上げられるスター
メイン。盛大な花火を打ち上げて、一緒に厚木を盛り上げませんか。

場所

■1万円以上=商業観光課、厚木商工会議所、市観光協会
●1万円未満=■に加え、公民館、本厚木駅・東丹沢七沢観光案
内所、郵便局

期間

7月1～31日

愛TV 7/1～

祭りの最新情報は市観光協会HPへ

市民出店村

3日 10～21時 4日 10～18時
厚木中央公園

Dance Legend▶

3・4日 ①10～14時
②16～18時
厚木中央公園

民謡総おどり

4日 16時～16時30分
厚木なかちょう大通り

子ども鮎つかみどり

4日 ①9時15分～②10時30分～
場所 相模川三川合流点
対象 ①5歳以上～小学3年生
②小学4～6年生
☎7月1～15日に市HPで受け付け。
各回300人。抽選。

みこしショー▶

4日 12時15分～13時30分
厚木なかちょう大通り

自然歳時記

●ハナイカダ●
ミズキ科

葉の中央に小さな花が咲き、まるで船頭さ
んが棧に乗っているように見えるのが名の
由来。落葉低木で高さ1～3mほど。雌雄異
株で雌花は1個、雄花は数個の花が咲く／不
動夙の林縁で見つけた。 写真・文／吉田文雄

光沢のある葉の中心に花が咲き
実がなる珍しいハナイカダには
「気高い人」という花言葉がある。
散策中に誰かが見つけると、みん
なの顔が明るく陽気になるほど魅
力あふれる樹木で、葉の主脈が花
の位置まで伸びて太いのは茎の名
残と思われる。

花の咲いた後、雌株の方に1個、
まれに2個の実がなることがある。
実は初めは緑色で、黒く熟してく
ると甘酸っぱい味がする。若葉は
おひたしや天ぷらとして食べら
れ、薬用効果もある。
今年も会え、また来年も会える
と思うと新たな希望が湧いてくる。

厚木市の人口
(6月1日現在)

世帯数

10万5931世帯 (前月比129世帯増)

人口

22万3880人 (前月比19人減) 男11万5362人・女10万8518人

「広報あつぎ」では、自主財源確保のため広告掲載事業を実施しています。広告掲載の申し込みは(株)横浜メディアアド ☎045-450-1808へ。